

# 2021年度

## 日本史B入試問題

(2021年2月4日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 【注意】

1. 解答はすべて「解答用紙」の所定の欄に記入してください。
2. 問題用紙および解答用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものは不可）とし、それ以外の使用は認めない。

解答用紙はマークセンス方式です。

1. 解答用紙は、汚したり折り曲げたりしないこと。
2. マークの記入に際しては、解答用紙に示されたマーク記入例に従って黒鉛筆またはシャープペンシル（H、F、HB、B）で正確に記入すること。
3. 記入間違いは、消しゴムで完全に消してから記入すること。
4. 座席番号記入欄には座席番号を、解答欄にはマークを記入すること。

【1】 貨幣・紙幣の歴史について述べた次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

弥生時代の遺跡からは、秦・前漢代の半兩錢・五銖錢、新代の貨泉・貨布など当時の<sup>(a)</sup>中国でつくられた貨幣が出土する。このような中国貨幣の一部については交易に用いられたとする説もあるが、基本的には貨幣として用いられたものではないと考えられる。

中央政府による本格的な貨幣発行は7世紀後半の  に始まる。8世紀初めには、<sup>(b)</sup>平城京の造営工事に雇われた人々への支給などに利用することを想定した錢貨が発行され、以後、政府は10世紀半ばまで貨幣の鑄造を続けた。

その後、国内での貨幣流通は下火となったが、<sup>(c)</sup>12世紀には宋から流入した中国錢が用いられるようになった。鎌倉時代には、その使用は急速に広がり、年貢の錢納も行われるようになった。錢の輸送を手形で代用する為替が利用されるようになるとともに、借上と呼ばれる金融業者も現われた。

室町時代には、<sup>(d)</sup>年貢をはじめとした種々の税の多くも錢納となり、土地の売買も貨幣で行われるようになった。錢貨は種類に関係なく基本的には1枚1文として用いられていたが、私鑄錢などの悪錢の流通が広がると、悪錢を忌避して良錢を選ぶ撰錢が行われるようになり、商取引などが阻害された。大名や幕府は撰錢令を出して、撰錢を制限し貨幣の円滑な流通をはかった。

戦国時代から安土桃山時代にかけては、中国からの貨幣輸入の減少などにより良錢が不足するようになり、取引に米などが用いられることも増えていった。豊臣秀吉によるいわゆる<sup>(e)</sup>太閤檢地で貫高制にかわって石高制が採用された背景には、このような錢不足もあったと推測される。一方、この頃から金・銀を高額貨幣として用いることも行われた。

江戸幕府は、<sup>(f)</sup>金・銀・錢の三貨を鑄造させるなど貨幣制度を整備した。また、諸藩が幕府の許可を得て発行した藩札もそれぞれの藩内で流通した。貨幣が全国的に広く流通するようになったことで、商品流通をはじめとした経済の発展が促進された。

明治政府は、<sup>(g)</sup>新貨条例を出して金貨を本位貨幣とする金本位制を採用したが、実際には金銀複本位制であった。政府はさらに本位貨幣との交換が保証される兌換紙幣の流通をめざしたが、ただちに兌換制度を確立することはできなかった。その後、中央銀行として設立された日本銀行が銀兌換銀行券を発行し、銀本位制が確立した。

日清戦争後には、清国から獲得した賠償金の一部を準備金として金本位制が確立した。以後、日本経済は国際的な金本位体制に参加することで、貿易がよりさかんとなり外資・外債の導入なども促進されたが、 が始まると3年後には列強にならって金本位制は停止された。その後、金本位制への復帰が模索されたが、恐慌が相次ぐ状況のなかではなかなか実現しなかった。<sup>(h)</sup>立憲民政党の浜口雄幸内閣は、経済回復の切り札として昭和初期に金本位制への復帰を断行したが、同時期に世界恐慌の影響が日本にも及び、大量の金が流出する事態となった。結局、<sup>(i)</sup>金本位制は停止され、通貨量を政府が管理する管理通貨制度へと移行した。

問1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア－和同開珎 イ－第一次世界大戦      ② ア－和同開珎 イ－シベリア出兵  
③ ア－富本銭 イ－第一次世界大戦      ④ ア－富本銭 イ－シベリア出兵

問2 下線部(a)に関連して、弥生時代の遺跡から中国の貨幣が出土した背景に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 倭の小国の王が中国王朝に遣使し、中国との交流が行われた。  
② 倭の五王による遣使にともなって、中国との交流が行われた。  
③ 朝鮮半島を支配した高句麗には、中国の貨幣が浸透していた。  
④ 九州北部は中国王朝に直接支配されており、中国の貨幣が浸透していた。

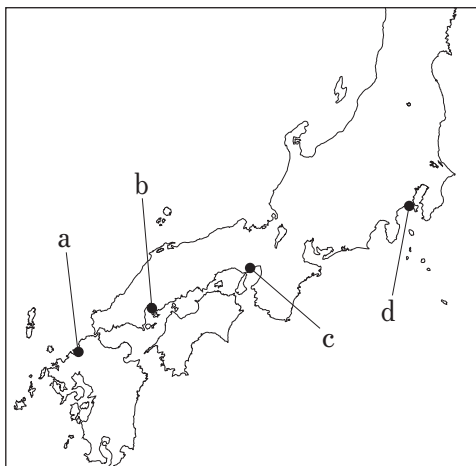
問3 下線部(b)に関連して、平城京への遷都や平城京に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 文武天皇の死後、その妃であった元明天皇によって遷都が行われた。  
② それまでの宮都であった恭仁京は廢都となった。  
③ 唐の都長安にならって造営された条坊制の街区を持つ宮都であった。  
④ 都の西側には外京と呼ばれる張り出し部がつけられた。

問4 下線部(c)に関連して、12世紀における宋との貿易について述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 4

X 宋の商人はこの地を貿易の拠点とし、この地に居住していた者も多かった。

Y 平清盛が宋の商人の招来をはかって、この地の港を修築した。



① X - a      Y - c

② X - a      Y - d

③ X - b      Y - c

④ X - b      Y - d

問5 下線部(d)に関連して、室町幕府の財源となった税などに関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

X 将軍の直轄領である屯倉からの年貢収入などは重要な財源であった。

Y 金融業者から徴収する運上・冥加などは重要な財源であった。

① X - 正      Y - 正

② X - 正      Y - 誤

③ X - 誤      Y - 正

④ X - 誤      Y - 誤

問6 下線部(e)に関連して、豊臣(羽柴)秀吉や太閤検地に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 6

- a 豊臣秀吉は、朝廷から関白・太政大臣に任じられ、天皇の権威を利用して全国統一を進めた。
- b 豊臣秀吉は、大坂城に後陽成天皇を迎えて、天皇と秀吉への忠誠を大名たちに誓わせた。
- c 太閤検地では、公地公民制のもとの複雑な土地の権利関係が整理された。
- d 太閤検地では、長さや面積の単位が統一されたほか、枧の容量が京枧に統一された。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問7 下線部(f)に関連して、江戸時代前半の三貨に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 7

- ① 金貨は、小判・一分金などの計数貨幣であった。
- ② 銀貨は、丁銀・豆板銀などの秤量貨幣であった。
- ③ 銭貨は、寛永通宝などの計数貨幣であった。
- ④ 金貨はおもに西日本で、銀貨はおもに東日本で用いられた。

問8 下線部(g)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 8

X 円・銭・厘の十進法が採用された。

Y 民間銀行が兌換紙幣を発行することが定められた。

- ① X－正      Y－正                      ② X－正      Y－誤  
③ X－誤      Y－正                      ④ X－誤      Y－誤

問9 下線部(h)に関連して、浜口雄幸内閣やその政策に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 9

- ① 立憲政友会の犬養毅内閣の総辞職により成立した。
- ② 蔵相には井上準之助が、外相には幣原喜重郎が就任した。
- ③ 輸入の拡大をめざして物価の引き下げをはかり、財政を緊縮した。
- ④ 補助艦の保有量制限を約したワシントン海軍軍縮条約に調印した。

問10 下線部(i)に関連して、金本位制停止後の経済状況や政府の経済政策に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 10

- ① 外国為替相場が大幅に円高となり、日本の輸出が急増した。
- ② 日本は他の資本主義諸国に先駆けて、恐慌を脱した。
- ③ 政府は赤字国債を発行して、財政支出を拡大する政策をとった。
- ④ 産業構造が、軽工業中心から重化学工業中心へと変化した。

【2】 古代・中世の文化などについて述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 6世紀に  の聖明王によって公式に伝えられた仏教は、はじめ外来の<sup>(a)</sup>呪術の一種として豪族たちに信仰されたが、次第に教義に関する理解も深まり、国家によって保護されるようになった。<sup>(b)</sup>8世紀には仏教の持つ鎮護国家の思想によって国家の安定を図るため多くの官寺が造営され、僧侶は国家の統制を受けながら仏事や教理研究に携わった。<sup>(c)</sup>仏教や僧侶が政治にも影響を与えるようになると、その影響を排除しようとする動きもみられたが、9世紀に  によって密教が導入されて個人の現世利益をかなえる性格が強調されると、貴族の間ではより深く仏教に対する信仰が浸透していった。10世紀以降には、<sup>(d)</sup>浄土教が流行したが、この流れは個人による信仰の深化をうながし、中世における仏教信仰の先駆けとなった。

問1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア－百済      イ－空海                      ② ア－百済      イ－空也  
③ ア－新羅      イ－空海                      ④ ア－新羅      イ－空也

問2 下線部(a)に関連して、日本の原始・古代の呪術や呪術的風習に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 縄文時代には、女性をかたどった埴輪がさかんに製作された。  
② 弥生時代には、卑弥呼のように呪術的権威を背景に政治を行う王がいた。  
③ 古墳時代には、鹿の骨などを用いて占う盟神探湯がさかんに行われた。  
④ 平安時代には、忌むべき方角を避ける物忌と称する風習が貴族の間で広がった。

問3 下線部(b)に関連して、8世紀の仏教に対する国家の保護・統制などに関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 天武天皇は、大官大寺や薬師寺を造営した。  
b 聖武天皇は、全国に国分寺・国分尼寺を置くことを命じた。  
c 政府は、僧侶に対して社会事業や民衆への布教を奨励した。  
d 奈良の大寺院では、南都六宗と呼ばれる学系が形成された。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問4 下線部(c)に関連して、政治に関わった僧侶に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 14

- Ⅰ 称徳天皇の信任を受けた道鏡が、法王として権力を握った。
- Ⅱ 唐から帰国した旻は、国博士となり政治に参画した。
- Ⅲ 玄昉は天皇に信任されて活躍したが、藤原仲麻呂と対立し左遷された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問5 下線部(d)に関連して、平安時代の浄土教に関する次の史料に関して述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 15

夫れ往生極楽の教行は、<sup>(1)</sup>濁世末代の目足なり。道俗貴賤、誰か帰せざる者あらんや。但し顕密の教法は、其文一に非ず。事理の業因は、其の行惟れ多し。利智精進の人は、未だ難しとなさざるも、予の如き頑魯の者、豈敢てせんや。是の故に<sup>(2)</sup>念仏の一門によりて、聊か経論の要文を集む。之を披き之を修せば、覚り易く行ひ易からん。

- ① この史料の筆者である源信は、当時左大臣を務めていた。
- ② この史料は『日本往生極楽記』の一部で、極楽往生の方法が説かれている。
- ③ 下線部(1)は、当時流行していた末法思想による表現である。
- ④ 下線部(2)は、盧舎那仏を念じることを意味している。

B 院政期には、<sup>(e)</sup>院（法皇・上皇）が仏教をあつく信仰し保護したこともあり、さかんに造寺・造仏が行われた。大寺院は多くの荘園を所有し、僧兵を擁して世俗的な力を持った。一方で<sup>(f)</sup>院政期には戦乱が相次ぎ、平氏の盛衰など世は大きく移り変わった。人々が末法到来の思いを深めるなかで、聖とよばれた修行者たちにより仏教の改革の動きが起こった。

鎌倉時代には、浄土教の流れから出た<sup>(g)</sup>法然・親鸞らは念仏を、栄西・道元らは禅をすすめ、日蓮は法華経を重視した。これらの教えは旧仏教側の弾圧を受けることもあったが、次第に庶民・武士らに広まっていった。

室町時代には、幕府の保護を受けた<sup>(h)</sup>臨濟宗の五山派が世俗的な力を持つとともに、文化的にも大きな役割を果たしたが、幕府の衰退によって旧仏教寺院とともに次第に衰えていった。代わって、農民・商工業者・武士などを基盤とした<sup>(i)</sup>一向一揆や法華一揆が成長し、世俗的な力も持つようになった。



問6 下線部(e)に関連して、院政期の院による仏教信仰や大寺院の動きなどに関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 16

- ① 平安京の東の郊外に、法成寺をはじめとした大寺院が造営された。
- ② 院は、しばしば紀伊の高野山や熊野に参詣した。
- ③ 延暦寺の僧兵は、春日神社の神木を奉じて強訴した。
- ④ 興福寺は源氏と敵対し、源頼朝軍の攻撃を受けた。

問7 下線部(f)に関連して、院政期頃に起こった戦乱について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 17

- ① 院政が始まった頃、東北地方で後三年合戦が起こっていた。
- ② 白河法皇の死の直後、保元の乱が起こった。
- ③ 鳥羽法皇の死の同年、平治の乱が起こった。
- ④ 後白河法皇の死の直後、治承・寿永の乱が始まった。

問8 下線部(g)に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 18

X 法然は『選択本願念仏集』を著し、専修念仏の教えを説いた。

Y 親鸞は『歎異抄』を著し、悪人正機を説いた。

- ① X - 正      Y - 正                                  ② X - 正      Y - 誤
- ③ X - 誤      Y - 正                                  ④ X - 誤      Y - 誤

問9 下線部(h)に関連して、室町時代の五山僧に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

- ① 絶海中津・義堂周信らにより、漢詩文の創作などの文学活動がさかんに行われた。
- ② 幕府の政治・外交顧問として活躍し、外交使節として明や朝鮮に渡った僧侶もいた。
- ③ 五山の画僧であった雪舟は、公案を図化した「瓢鮎図」を描いた。
- ④ 五山の僧侶であった桂庵玄樹は、薩摩の島津氏などに招かれ儒学を講義した。

問10 下線部(i)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 20

- a 一向一揆の多くは、蓮如の布教によって浄土真宗が広まった地域で起こった。
- b 加賀の一向一揆は、豊臣秀吉に制圧されるまで1世紀近く加賀国を支配した。
- c 富裕な商工業者を中心に結成された京都の法華一揆は、一時町政を掌握した。
- d 京都の法華一揆は天文法華の乱で一向一揆に敗れ、一時京都を追われた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

【3】 近世の政治・社会などに関する下の問い（問1～10）に答えなさい。

問1 西暦1615年の出来事を示した次の年表中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

月	日	出来事
4	6	徳川家康，再び大坂征討を命じる
5	7	大坂城落城
閏6	13	幕府，一国一城令を定める
7	7	徳川秀忠，伏見城で大名らに <input type="text" value="ア"/> を下す
7	13	慶長を <input type="text" value="イ"/> に改元する
7	24	家康，諸宗諸本山法度を下す

（『日本史総合年表』より作成）

- ① ア－武家諸法度      イ－元和      ② ア－武家諸法度      イ－元禄  
③ ア－禁中並公家諸法度      イ－元和      ④ ア－禁中並公家諸法度      イ－元禄

問2 近世初期の外交などに関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

- Ⅰ 大友義鎮（宗麟）・大村純忠らのキリシタン大名が，ヨーロッパに使節を派遣した。  
Ⅱ 伊達政宗は，家臣の支倉常長をヨーロッパに派遣した。  
Ⅲ 豊臣秀吉を日本国王に封ずるといふ国書を持参した明の使者が来日した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ  
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 江戸時代に幕府で老中を務めた人物に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 23

X 5代将軍徳川綱吉の側用人から老中格となり、幕府政治を主導した。

Y 10代将軍徳川家治の側用人から老中となり、幕府政治を主導した。

a 柳沢吉保                      b 松平信綱                      c 田沼意次                      d 水野忠邦

- ① X - a      Y - c                                      ② X - a      Y - d  
③ X - b      Y - c                                      ④ X - b      Y - d

問4 江戸幕府や藩による民衆統治政策に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 24

X 江戸幕府や藩は、村や町の自治を否定し個人を直接支配した。

Y 江戸幕府や藩は、民衆が土地などの財産を持つことを禁じた。

- ① X - 正      Y - 正                                      ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                                      ④ X - 誤      Y - 誤

問5 新井白石について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

- ① 朱子学者で、垂加神道を唱えた山崎闇斎の弟子であった。  
② 将軍徳川家宣の侍講として幕政にかかわり、政治の刷新をはかった。  
③ 捕えられた宣教師を訊問して得た知識をもとに、『西洋紀聞』を著した。  
④ 公家政権や武家政権の推移を、段階的に時代区分した『読史余論』を著した。

問6 享保の改革での政策に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～

④のうちから一つ選びなさい。 26

- a 人材登用や支出削減のために、上米の制を採用した。
- b 人材登用や支出削減のために、足高の制を採用した。
- c 幕領の年貢徴収に、定免法を改めて検見法を採用した。
- d 幕領の年貢徴収に、検見法を改めて定免法を採用した。

① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問7 江戸時代の飢饉とその影響に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 27

- ① 寛永の飢饉による財政難を打開するため、いわゆる鎖国政策が断行された。
- ② 西日本を中心とした享保の飢饉の影響で、大坂で慶安の変が起こった。
- ③ 天明の飢饉によって、東北地方では多数の餓死者が出た。
- ④ 天保の飢饉が長期化するなかで、江戸では大塩の乱が起こった。

問8 寛政の改革で行われた政策に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① 物価の引き下げを意図して、株仲間の解散を命じた。
- ② 旗本・御家人を救済するために、札差に対して貸金の放棄を命じた。
- ③ 海防の重要性を述べた工藤平助が弾圧された。
- ④ 長崎に来航したロシア使節の通商要求を拒否した。

問9 江戸時代後期の農村の変容に関して述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

- X 農業の集約化が進み、本百姓を中心とした体制が確立した。
- Y 村役人を兼ねる豪農と、一般の百姓との間の対立から起こる村方騒動が増加した。

① X - 正      Y - 正                                      ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                                      ④ X - 誤      Y - 誤

問10 幕末期の政治などに関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 30

- Ⅰ 薩摩・会津藩が、長州藩など尊攘派の勢力を京都から追放した。
- Ⅱ 長州藩勢力が京都に攻め上ったが、敗れて退いた。
- Ⅲ 公武合体を推進した老中安藤信正が襲撃され、安藤は老中を辞職した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

【4】 近現代の外交について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 明治政府にとって、外交上の最大の課題は<sup>(a)</sup>欧米諸国との条約改正であったが、同時にアジア諸国との関係も重要であった。日本と同様に諸外国から不平等条約を強要されていた清国と<sup>(b)</sup>日清修好条規を結び、鎖国状態にあった朝鮮に対しては日本に有利な不平等条約である日朝修好条規の締結を強要した。江戸時代以来、日清両属状態にあった<sup>(c)</sup>琉球王国を日本が支配下に置いたことや、朝鮮における主導権をめぐって、日本は清国と対立を深め、朝鮮で起こった農民反乱を契機に日清戦争が始まった。この戦争に勝利した日本は、植民地を獲得するとともに清国に進出し、朝鮮（韓国）に対する圧迫を強めていった。その後、韓国や中国東北部の権益をめぐると対立から、ロシアとの間で<sup>(d)</sup>日露戦争が起こり、これにかろうじて勝利した日本は韓国を保護国化し、最終的には韓国併合条約調印を強要して、<sup>(e)</sup>韓国（朝鮮）を植民地とした。

問1 下線部(a)に関連して、条約改正交渉に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 31

- Ⅰ イギリスが条約改正に同意したが、外相が天津事件で辞任し交渉は中断した。
- Ⅱ 極端な欧化主義に対する反感もあって交渉に対する反対が高まり、交渉は中止された。
- Ⅲ アメリカと関税自主権回復の交渉にほぼ成功したが、イギリスなどの反対で無効となった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問2 下線部(b)に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 32

- a 日清両国が朝鮮に出兵する際には、互いに事前通告することが定められた。
- b 日本が外国と結んだ条約としては、はじめての対等条約であった。
- c 日本の台湾出兵に対して、清国が事実上の賠償金を支払うことが定められた。
- d 日清両国は、互いに開港して領事裁判権を認め合うことなどを定めた。

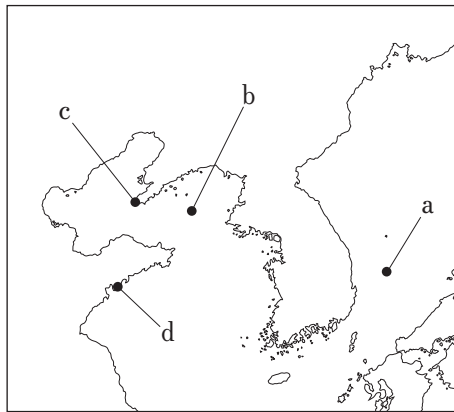
- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問3 下線部(c)に関連して、琉球王国の歴史に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 33

- ① 13世紀に、中山王の尚巴志によって建国された。
- ② 15～16世紀半ばにかけて、東アジア諸国間の中継貿易で繁栄した。
- ③ 17世紀に、薩摩の島津氏に征服されてその支配を受けた。
- ④ 19世紀に、日本政府は琉球王国を廃止し沖縄県を設置した。

問4 下線部(d)に関して述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 34

- X 日本海軍の連合艦隊が、この周辺海域でロシアのバルチック艦隊を破った。
- Y 日本の陸軍が半年以上の攻撃で多くの死傷者を出しながら、この地を占領した。



- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ① X - a    Y - c | ② X - a    Y - d |
| ③ X - b    Y - c | ④ X - b    Y - d |

問5 下線部(e)に関連して、日本による韓国（朝鮮）の植民地支配について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 35

- X 統治機関として設置された朝鮮総督府は土地調査事業を実施し、所有権の不明確な土地を接収して、その一部を東洋拓殖会社などに払い下げた。
- Y 初期には朝鮮の慣習を尊重した文化政治が行われたが、三・一独立運動を経て憲兵警察を採用するなど武断政治へと転換した。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ① X - 正    Y - 正 | ② X - 正    Y - 誤 |
| ③ X - 誤    Y - 正 | ④ X - 誤    Y - 誤 |



B ヨーロッパ列強間の対立から第一次世界大戦が勃発すると、日本は  を理由に参戦し、列強が戦争でアジアの問題を顧みる余裕がないことを好機ととらえ、中国における権益の延長・拡大を図って、中国政府に (f) 二十一カ条の要求 を提出した。日本が最後通牒を発して要求の大部分を承認させたことから、以後中国では激しい排日運動が起こった。中国では軍閥同士の争いが激しかったが、1920年代には国民党と共産党が提携し統一を目指す動きが高まった。 を中心とした国民革命軍による北伐によって中国統一が完成に近づき、国権回収をめざす民族運動が高まると、満州における権益の確保・拡大を図る (g) 関東軍 は、中国東北部を中国主権から切り離して日本の勢力下に置くことを計画し、軍事行動を開始した。

こうした日本の動きは国際的な批判を呼び、日本は国際的に孤立していったが、同様に国際的に孤立していったドイツ・イタリアと結びつきを強め、枢軸陣営を形成することとなった。盧溝橋事件を契機に (h) 日中戦争 が始まると、中国では国民党と共産党が提携して抗日民族統一戦線を成立させ、戦争は長期化した。イギリス・アメリカは日本の動きを非難して、日英・ (i) 日米関係 は急速に悪化していった。

問6 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- |   |        |       |   |        |       |
|---|--------|-------|---|--------|-------|
| ① | ア－日露協約 | イ－蒋介石 | ② | ア－日露協約 | イ－袁世凱 |
| ③ | ア－日英同盟 | イ－蒋介石 | ④ | ア－日英同盟 | イ－袁世凱 |

問7 下線部(f)に関連して、次の史料は二十一カ条の要求の一部である。日本政府が中華民国政府に要求した内容について述べた下の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 37

第一号……

第一条 支那国政府ハ、<sup>ドイツ</sup>独逸国カ山東省ニ関シ<sup>その</sup>条約<sup>よ</sup>其他ニ依リ支那国ニ対シテ有スル一切ノ権利・利益・<sup>じょうよ</sup>譲与等ノ処分ニ付、日本国政府カ独逸国政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス

第二号 日本国政府及支那国政府ハ支那国政府カ南満州及<sup>ないもうこ</sup>東部内蒙古ニ於ケル日本国ノ優越ナル地位ヲ承認スルニヨリ、<sup>ここ</sup>茲ニ左ノ<sup>じょうかん</sup>條款ヲ締約セリ

第一条 両締約国ハ、<sup>ならびに</sup>旅順大連租借期限<sup>あんぼう</sup>並南満州及安奉<sup>いず</sup>両鉄道各期限ヲ何レモ<sup>さら</sup>更ニ九十九ケ年ツツ延長スヘキコトヲ約ス

(『日本外交文書』)

X 山東省の權益に関して、日本がドイツと結ぶ協定を承認することを要求した。

Y 山東半島の旅順・大連の租借期限の延長を要求した。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

問8 下線部(g)に関連して、関東軍の行動に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 38

- a 中国共産党軍に敗れ、満州に撤退した張学良を爆殺した。
- b 国民革命軍に敗れ、満州に撤退した張作霖を爆殺した。
- c 北京郊外での線路爆破事件を口実に、中国各地を占領した。
- d 奉天郊外での線路爆破事件を口実に、満州各地を占領した。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ① a・c | ② a・d | ③ b・c | ④ b・d |
|-------|-------|-------|-------|

問9 下線部(h)に関連して、日中戦争開戦以後の経済統制などに関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 39

- ① 国家総動員法が制定され、政府に人的・物的資源を動員する強い権限が与えられた。
- ② 軍需品の生産が優先されて民需品が不足し、生活必需品の切符制がとられた。
- ③ 重要産業統制法が制定され、企業のカルテルの結成が推進された。
- ④ 政府による米の強制的買上げ制度が開始された。

問10 下線部(i)に関連して、日中戦争から太平洋戦争開戦までの日米関係に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 40

- ① アメリカは、日本と戦う中華人民共和国政府を援蔣ルートを通じて支援した。
- ② アメリカは日米通商航海条約を廃棄し、日本への軍需品の輸出を制限した。
- ③ 日本軍の南部仏印進駐に対して、アメリカは日本への石炭輸出禁止を決定した。
- ④ 日米交渉は最終的にカイロ宣言を受けて決裂し、日本は対米開戦を決意した。

# 日本史 (20210204) 解答一覧

大問	問	正解
1	1	③
	2	①
	3	③
	4	①
	5	④
	6	②
	7	④
	8	②
	9	②
	10	①
2	1	①
	2	②
	3	④
	4	④
	5	③
	6	②
	7	①
	8	②
	9	③
	10	①
3	1	①
	2	②
	3	①
	4	④
	5	①
	6	④
	7	③
	8	②
	9	③
	10	⑤

大問	問	正解
4	1	⑥
	2	④
	3	①
	4	①
	5	②
	6	③
	7	②
	8	④
	9	③
	10	②